

# 会 議 録

会議名	第1回みよし市文化財保護委員会		記載者	教育行政課 資料館 野々山 幸生
期 日	平成30年4月24日(火)		場 所	みよし市役所 2階 201会議室
	午前9時25分～10時20分			
出席者	文化財保護委員		教育長	今瀬 良江
	委員長	岡本 洋子	教育部長	柴田 圭一
	職務代理者	原田 重助	教育部次長	山崎 正勝
	委員	石川 芳秋	事務局 館長	林 久義
	委員	鈴木 睦子	主任主査	野々山 正樹
	委員	酒井 孝芳	主任主査	嘉見 俊宏
	委員	赤羽 一郎	主事	野々山 幸生
傍聴者	0名			
内 容				

午前9時25分

<典礼>

只今から、平成30年度第1回文化財保護委員会を開会します。本会議は委員改選の年度、最初の会議であります。委員長が決まるまでの間、事務局で委員会を進めさせていただきます。文化財保護委員会は、みよし市文化財保護条例の各規定に基づき、教育委員会に設置するみよしの附属機関であります。文化財の保存と活用に関わる重要な事項を審議決定、文化財保護に対するご意見を提出することが、文化財保護委員の皆様の役割となっております。委員の任期は2年となっております。次第をおめくりください。委員名簿を掲載させていただきました。ご確認ください。再任委員5名、新任委員1名となっております。文化財保護委員会の会議は、みよし市附属機関の設置及び運営に関する要綱に基づき個人情報に関わる事案の審議以外は、公開することになっておりますので、よろしくお願ひします。はじめに、教育長から委員の皆様に委嘱状を交付させていただきます。自席にてお受け取りください。ここで教育長からご挨拶を申し上げます。

<教育長>

(挨拶)

<典礼>

教育長、ありがとうございました。今年度は新任の委員の方もおられますので、委員の皆様から一言自己紹介をお願いいたします。

<各委員>

(挨拶)

< 典礼 >

皆様、有難うございました。

ここで、教育部次長など人事異動がございましたので、職員の自己紹介をさせていただきます。

< 職員 >

(自己紹介)

< 典礼 >

続きまして、会務を総理いただく委員長及びその委員長職務代理者を選出いただきます。はじめに、委員長の選出であります、いかが取りはからったらよろしいでしょうか。

< 原田委員 >

岡本委員にやっていただけたらと思います。

< 典礼 >

岡本委員にやっていただいたらと言う意見がございましたが、他に意見はございませんでしょうか

< 酒井委員 >

異議なし。

< 典礼 >

意義なしというお声が上がりました。岡本委員に委員長をお願いすることに決定してよろしいでしょうか。ご意見がないようですので、当委員会の委員長は、岡本洋子様決定されました。岡本委員長には、委員長席へお移りいただきたいと思ひます。続きまして、委員長職務代理は、文化財保護条例第9条第3項によりまして、あらかじめ定めておかなければならないとありますので、委員長が指名いたします。

< 岡本委員長 >

原田重助委員が適任かと思われますが、いかがでしょうか。

< 酒井委員 >

意義ありません。

< 典礼 >

では、原田様に委員長職務代理を決定しました。原田様におかれましても職務代理者の席にお移りいただきたいと思ひます。ここで、委員長の岡本様に改めてご挨拶をいただきます。

< 岡本委員長 >

(挨拶)

< 典礼 >

ありがとうございました。これより、議事の会議の取り回しは、岡本委員長にお願いいたします。

< 岡本委員 >

本日はみなさま出席ということで、みよし市文化財保護条例第11条第2項の規定に基づき、成立しています。当委員会の会議は、みよし市付属機関の設置及び運営に関する要綱に基づき、会議を公開

とします。議事に入る前に、当委員会の会議録の署名者は、委員長が行なうことにしてよろしいか。

<原田職務代理者>

意義ありません。

<岡本委員長>

意義なしと認めます。それでは、(1)平成30年度資料館事業概要及び事業計画について、事務局から説明してください。

<事務局>

失礼いたします。それでは平成30年度資料館事業概要及び事業計画について簡潔にご説明します。よろしくお願ひします。

2ページをご覧ください。館長はじめ、主任主査3名、主査2名、主事1名 計7名の職員と一般非常勤職員1名、臨時的非常勤職員8名の合計16名の体制でございます。主な事務事業につきましては、例年通り、資料館管理運営をはじめ石川家住宅管理運営まで12の事務事業を実施してまいります。

3ページをご覧ください。事務分掌の一覧を掲載したものでございます。

続きまして4ページ 資料館の事業概要の2 重点事業をご覧ください。

第1点目は、みよし市が平安時代には、全国に誇る猿投窯の産地であったことを、市民へ情報を発信する取り組みなどを4つ行います。

一つ目は、愛知大学跡地開発事業に伴う発掘調査。

二つ目は、陶器づくりの小学校出張授業を、昨年までの2校から4校への拡大。

三つ目は、市指定文化財黒笹27号窯を含む、市内文化財めぐりの実施。

四つ目は「土器型クッキー」の体験イベントを、8月4日に実施する予定です。

第2点目の重点事業は、資料館資料の展示や情報提供の充実に努めます。

一つ目は、常設展示で昔の道具に関連したテーマ展示を実施し、解説資料を作成します。

二つ目は、民具の出張授業などのプログラムや貸出民具の解説資料を作成し、小中学校へ提供します。

三つ目は、東日本を中心に千点を超える石器をまとめた、稲垣氏寄贈資料の図録を作成します。

5ページをご覧ください。(3)郷土芸能伝承活動発表会開催事業でございます。今年度は9月9日(日)に開催する予定です。参加団体につきましては、昨年度と同様に13団体を予定しております。

(7)埋蔵文化財保存事業であります。イ開発事業等発掘調査業務につきましては、愛知大学跡地宅地開発が予定されております。昨年度に宅地開発事業として試掘調査を実施したところ、古窯が発

見されたため実施するものです。これは原因者負担の発掘調査となります。

(9)資料館展示事業であります。例年通り春夏秋冬の企画・特別展を開催してまいります。企画・特別展の内容につきましては、あくまでも計画ですので、変更する場合がありますのでご了承ください。

(11)石川家住宅管理事業につきましては、各種イベントや講座などを開催し、昨年度以上の入館者増進に努めてまいります。7 ページには事務事業の実施計画を添付させていただきましたのでよろしくお願ひ申し上げます。

以上、説明とさせていただきます。

<岡本委員長>

ご意見ご質問がありましたら、お願いします。よろしいでしょうか。それでは、続いて(2)平成29年度資料館等入館者等状況について、事務局から説明してください。

<事務局>

8 ページをご覧ください。平成29年度歴史民俗資料館入館者状況の月別の総括表です。縦列が月別、横列が市内、県内、県外の別です。平成29年度は、市内が3,463人、県内が3,145人、県外が177人、計6,785人という入館者数でした。

9 ページは展示会別の入館者数の表です。展示会は4回開催し、開館日数は207日間で6,214人の入館者でした。下の表が平成28年度の企画展別の入館者数です。それと比較しますと、倍増となりました。これは平成28年度がリニューアルオープンの影響で3回の展示会だったのが29年度に4回に戻ったことと、夏季企画展の入館者数が大幅に増加したことが原因と思われます。常設展示に関しましては、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの97日の開館で571人でした。

10 ページは小学校による資料館利用実績です。資料館に来館していただいたのが、3校283人、出張授業は計3回、南部小学校2回と三好丘小学校1回です。上の2回は猿投古窯の関係、下の南部小学校3年生は民具の出張授業をいたしました。所蔵資料の貸出・展示に関しましては、昔のくらしで民具の貸出しを3校実施しました。

11 ページはその他一般向けの説明会の実績です。開催日、開催場所、開催団体、参加者人数の順です。

続いて石川家住宅について説明いたします。12 ページをご覧ください。教育普及としまして、歴史体感講座、番号、講座名、内容、開催日、回数、参加者数の表です。講座につきましては、歴史体感講座を延べ59種類、回数にして165回、参加者数2,088名です。夏まつりは7月29日に開催しまして65名、クイズラリーは3月10日に開催しまして41名です。その他の主催イベントとしまして、町なかアートギャラリーを10月18日から11月26日まで開催しました。利用者主催イベントとしまして小学校の総合学習や社会科の授業として、計3校、256名参加いただきました。コンサートについては、サンアートのロビーコンサートのメンバーによるもので、サンアートの協力を得ましてコン

サートを3回、ボランティア講師によるコンサートを1回実施しました。七夕茶会を文化協会の茶会として7月2日に実施しました。参加者は170名です。

13ページをご覧ください。利用統計に移ります。年度、開館日数、市内、県内、県外で、左が大人、右が子供です。総数と一番右が一日平均です。総数を見ますと26年度は2,859人、27年度は4,748人、28年度は5,317人、29年度は4,803人、26年度は11月3日オープンですので、一日平均が35.7人です。28年度と29年度では若干ですが減少しています。2月別入館者数です。6月の入館者数が多いのは小学校とコンサートの利用、7月は七夕茶会によるものです。3一般利用は、3件ありました。

14ページをご覧ください。石川家住宅の利用の写真です。小学校の総合学習では、はじめに座敷でみよし並びに石川家の歴史の説明をしまして、井戸場などで体験的なことなども実施しております。夏まつりについては、こうした親子で楽しめるイベントと歴史体感講座の紹介を通して、一人でも多くのリピーターを獲得できるよう行っております。歴史体感講座の中でも毎月開催する講座は、琴、篠笛、唱歌、布草履、絵手紙など年々増加してきましたが、昨年度から始まりました伝承木綿講座につきましては、他の博物館でも多く実施されておりますが、石川家住宅でも絶やさないように大切に支援していきたいと考えております。

以上、説明とさせていただきます。

<岡本委員長>

ありがとうございました。ご意見ご質問がありましたら、お願いします。

<岡本委員長>

2点お願いします。まず、1点目ですが、各小学校等の利用、資料館、石川家住宅につきまして本当に積極的な取り組みをしていただいて、子どもたちにとってもよい学習の場面を与えていただいていると思うのですが、以前よりも小学校単位で見学をする機会が減ったと思います。移動の手段、授業の確保で学校は苦勞されていると思うのですが、もっと各学校で強制ではないのですが、積極的に子どもたちが3年生になって郷土教材を扱うときには、資料館と石川家にみんなでいける方法はないでしょうか。個人的に行くのはとても難しい家庭もあるかと思っておりますので、ぜひ、みよしの3年生の子には、なるべく多くの子に参加させてやりたいという希望を持っております。

もう1点昆虫展は人気があって参加者も多いということですが、今年の企画にはないのですか。

昆虫展を開く予定があるのかないのかその点を伺います。

<事務局>

説明させていただきます。小学校については、昨年度については、若干少ないというお話ですが、原因が、中部小学校が28年度に小学校の2年生と3年生がクラス単位で全部来てしまいました。その関係で、2年生が29年度は3年生になったものですから、中部小学校の29年度の来館者が減ったため、全体としての来館者が減ったと考えています。今年は、そういうことがないので例年通り3年生

については来ていただけるかと思えます。

それから昆虫展につきましては、資料館に昆虫を預けていただいて、昨年まで開催していただきましたが、預けていただいた者が昨年の冬から体調を崩しまして今年の展示に関して控えさせていただきたいとの話が前任者にありました。今年については、残念ながら見送らせていただく。夏については学芸員のできる古窯の関係で勝負していきたいと考えております。

<岡本委員長>

ありがとうございました。他にどうでしょうか。

<酒井委員>

現在、私は行政区の仕事で子供に関することをやっていますが、子供のゆとり教育がなくなって、資料館などをいろいろ体験する時間が減ってきています。最近特に思うのは、やはり先人のおかげがあって今がある。いつも久野源蔵さんを出すのですが、愛知用水があってみよしが豊かになった。日進、東郷、長久手は、水が通っていてもそれを使える状況にない。みよしは先見の明があった。福田では祖父の時代、大正時代に干ばつがあつたため池を造つたという経緯があるのですが、そういう先人の経験と知恵の積み重ねのおかげで、今があることを、特に他の地区からみえた方に歴史を理解してもらって今のみよしを考えてほしい。総合計画の方も立候補して委員にもなっていますが、そういうことを知らずにいろいろなことを言われることが多いので、やはりその辺が大事かなと思えます。そのためには、子どもたちに来てもらうことと、もう一つ私が出掛けてもいいですので、そういう出張授業に出掛けられる人たちを作つていったらどうか。小学校入る前から小学校低学年かけて、三好池をつくるのを日々眺めてどういう工事をやっていたかとかどういう苦勞があつただとかそういう話を子どもたちに伝えていきたい。刈谷市は、いまだに茶屋川・境川からの取水で稲作をやっていますので、非常に水の苦勞をしています。福田はバルブを開けるとすぐ水がでる。恵まれたことがある。その恵まれたことが何十年も続いていると当たり前で、そういうことを子どもたちに伝えたいなと思っていますし、そういう企画をやつてもらいたいなと思っています。

<岡本委員長>

ありがとうございました。石川先生どうですか。何かございましたらご意見ください。

<石川委員>

それでは一つ。的外れな質問になるかも知れませんが、西一色に民具と古窯関係の倉庫があるが、それを開放する計画はありませんか。というのは、資料を見ると、貸出しが多くあるので、いっそ資料館に学校が来ていただくついでにあそこへ行けば、かなりの量が見ることができる。検討する価値があると思うがいかがでしょうか。

<事務局>

説明させていただきます。私は資料館にきて7年になるのですが、資料館に来たときにそういう発想があつたのですが、学芸員から防災安全上、もし地震が起きたときに法律上安心な建物ではないため、一般の人を入れていないという経緯がございます。そういうところをクリアして前に進めるといいの

ですが。

<石川委員>

今すぐ答えはできませんね。

<岡本委員長>

酒井先生からご意見ありましたように、今年の出張授業の計画は立っているのでしょうか。まだ、学校等の要望がないですか。

<事務局>

まだ、学校から話は来ておりませんが、毎年南部小学校からはあります。酒井先生が言われたような出張授業は、猿投古窯の関係では、周知しています。これからも学校のほうに周知して募集をかけたいと思いますので、よろしくお願いします。

<岡本委員長>

校長会とかで呼びかけをしていくのですか。

<事務局>

はい。

<岡本委員長>

多くの子どもたちが参加できる企画をよろしくおねがいします。他に質問はどうでしょうか。鈴木さんどうですか。

<酒井委員>

行政区の関係で質問したいところがありまして、三好池の工事のことで水路も工事するんだよね。聞いていますか。

<事務局>

聞いてないです。

<酒井委員>

水路も工事すると、黒笹古窯にかかっている。だから、そのことも連絡調整してどういう形で水路多少補修するのか。国からの予算がついて本体の工事は今年の終わりくらいから計画立てて来年桜マラソン終わった後くらいから通れなくなると聞いたので、水路の工事の話があったのでその辺も考えておいていただきたいです。

<岡本委員長>

ありがとうございました。赤羽先生いかがでしょうか。いままでのところで何かありましたらご意見ください。

<赤羽委員>

いや、みよしのことは全く分かりませんので、拝聴しているだけですが、4ページ2 重点事業(2) 資料館資料の展示や情報提供の充実というところで、稲垣氏寄贈資料の図録作成するとあるんですが、この東日本を中心に 1000 点を越える石器をまとめたという稲垣さんの寄贈資料とはどんなものですか。

か。

<事務局>

稲垣さんは、三好上に在住でみえて、もともとは、野帳の会出身で、石器を中心に東日本、北海道を含めて石器を集められた方です。そちらの石器と陶器も含めて 1000 点資料館に寄贈していただきましたので、それを活用できるようにまとめて、どこで拾ったかとか聞き取りをして図録を作成する予定であります。

<赤羽委員>

展示はもうされたのですか。

<事務局>

最初寄贈された年に一度展示をしまして、さらに整理をしまして来年度展示をする予定であります。

<岡本委員長>

ありがとうございました。他にはよろしいでしょうか。それでは、文化財保護委員研修について事務局からお願いします。

<事務局>

はい、文化財保護委員研修について説明をさせていただきます。資料の 15 ページ、最後のページをご覧ください。研修は 3 回を予定しています。内訳としまして、1 回は県内の文化財等を見ていただく研修、1 回は県外の文化財等を見ていただく研修、1 回は西三河地方史連絡協議会大会への参加となります。1 つ目の県内研修につきましては、平成 30 年 7 月 20 日を予定しております。小牧市内の文化財さんぽということで、小牧市の小牧城及び歴史館めぐりをご提案させていただいています。2 つ目の県外研修につきましては、10 月 19 日を予定しております。内容としましては、岐阜県の岩村城下町の方をあげさせていただいています。3 つ目の西三河地方史連絡協議会大会につきましては、日時・場所ともに未定となっておりますが、例年ですと秋ごろを開催となっております。説明は以上です。

<岡本委員長>

ありがとうございました。何かご意見ご質問がありましたらお願いします。

<鈴木委員>

石川家住宅で、一般利用が 3 件あると書いてありましたが、一般利用は個人でも石川家住宅に行けばつかえるのですか。

<事務局>

事前に申込みがあれば、団体でなくても大丈夫です。

<鈴木委員>

ありがとうございます。

<岡本委員長>

研修についてはいかがでしょうか。

<石川委員>

研修のことで、計画では、年3回、小牧と岩村ともう一つは西三河で、西三河は私たち保護委員が行っていましたが、古窯研究会、郷土史研究会などのグループがある。これらのグループは任意の団体だから出なさいということとは言えないにしても、通知を出す計画をされていますか。いままで、これらのグループの参加はなかったですね。郷土史研究会などのグループが参加するのが本来の姿だと思うが、10月くらいに西三河地方史連絡協議会大会がどこで行われるか分からないがこれらの団体に通知を出す予定はありますか。

<事務局>

まだ発足して3年くらいの団体ですので、今までは、通知は出してなかったのですが、活動も軌道に乗って来たようです。

<石川委員>

やはり通知をする必要が出て来たような気がしますね。お願いします。

<岡本委員長>

参加をするためには、他の市町は、けっこういろいろな団体の方がこの連絡協議会に参加しているようにお聞きしていましたが、なるべくたくさん参加した方がよろしいですね。みなさんに、そういう機会を与えたほうがよりいっそう充実した会になりますよね。では、またその点、よろしくお願いします。では、全体をとおして何かございましたら。よろしいでしょうか。大変不慣れなとりまわしで失礼なことばかりでしたが、本日予定されました議事は全て終了いたしました。平成30年度第1回文化財保護委員会を閉会とします。ありがとうございました。

午前10時20分

平成30年 月 日

署名委員 委員長

印

---